

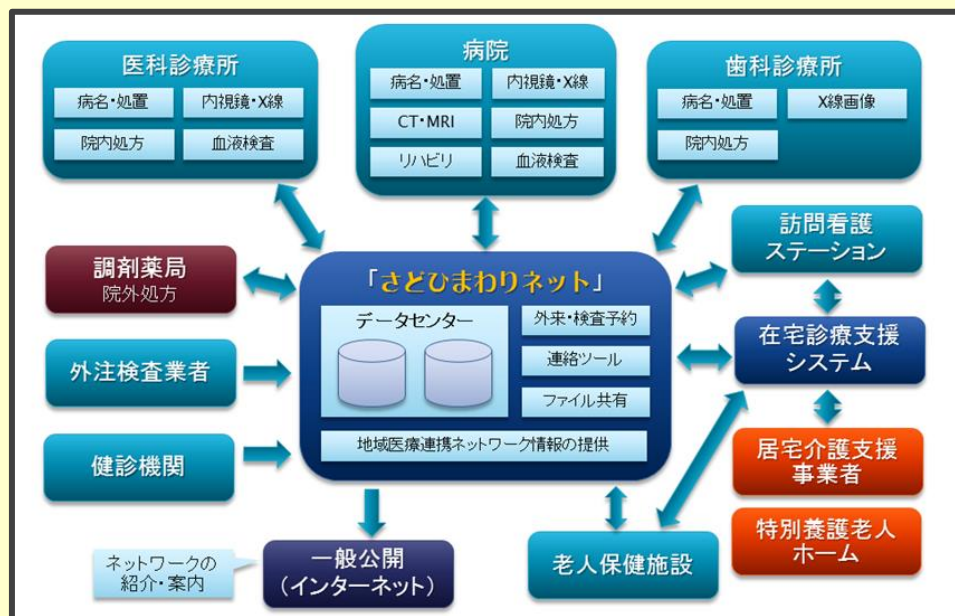
EHR① 佐渡地域医療連携ネットワーク「さどひまわりネット」

電子カルテに頼らない双方向の情報共有システムを構築する「さどひまわりネット」

(特定非営利活動法人佐渡地域医療連携推進協議会)

高齢化率40%を超え、医療・介護資源が乏しい離島において、激変する医療に伴う複雑な疾患管理、複数職種の介入が必要な高齢者への対応が大きな課題である。電子カルテに頼らずに医療情報を自動収集し、施設規模を問わず双方向に情報共有するネットワークシステムと、ICTを離れた「オフ会」を開催しながら、コミュニケーションをベースとした協働を可能とする体制を構築。

診療時のリスクを軽減し、安全で質の高い医療・介護サービスの提供に寄与。



医療・介護連携の基礎となる情報共有とコミュニケーション環境の構築

- ・参加施設数＝**75施設**(約6割)、住民同意者数 約**14,400人**(住民同意率＝全島民の約25%)
- ・連携システムの活用による**リスク回避**
- ・多職種が集う「オフ会」を通じた**実コミュニケーションの実現**
- ・蓄積された**データの二次利用**(今後の期待)
- ・**パッケージ化**による他地域への展開